

こぶし だより

働こう障がい者も
SSKW
働けるんだオレたちも



「2010～新たにこぶしの会にくわったなかまたち part1～」

CONTENTS

- ① トピックス.....2P～3P
- ② 特集「平成21年度こぶしの会事業報告」.....4P～6P
- ③ 《Pick up》第2弾 法人本部(生産活動部)7P
- ④ アドレス・編集後記8P

No. 341

2010
7

トピックス

こぶしの会 それぞれの現場から

Topics

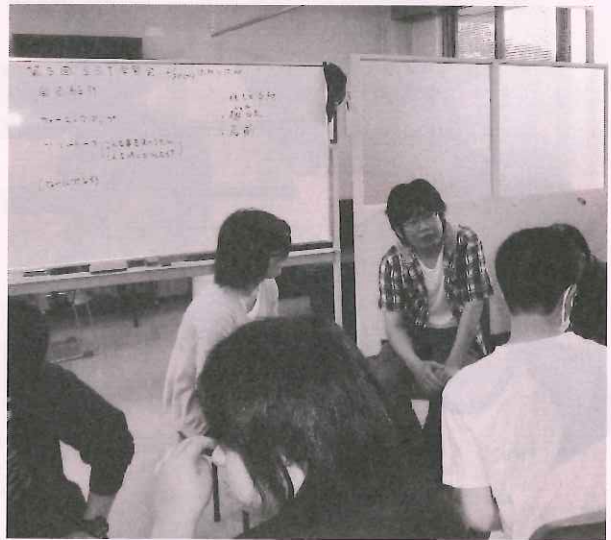
チャレンジセンター

SSTってなに?

平成二二年四月より、就労・生活支援課の就労に向けた取り組みの一つとしてSST (social skill training = 社会生活技能訓練) を宇都宮地区、芳賀地区、真岡地区の三地区でそれぞれ月一回実施しています。各地区の作業所の就労支援担当者が中心となり、毎回一時間三〇分くらいの時間で行っています。

SST? 聞いたことあるけど……なに? なんかことするの? と思う方もいると思います。

「人とうまく関われない」「話すことが苦手」「もっと上手に自分の思っていることを言葉で伝えられるようになりたい」等々、他人との関わりの中でこんな時どうすればいいの、というところに目を向けて、生活していくために役立つ方法を参加したメンバーと一緒に考えたり、練習することで身につけていくというものです。一回練習したからといってすぐに身につくものではないのです



SSTに取り組むなかまたち!

が、練習したことを日常の生活の中で実践し、活かしていくことが大切だと思います。また、メンバーと一緒に考えること、自分と同じ悩みや不安をもっている人が回りにもいることを知ること、反対に、自分と違う見方、考え方があることを知ることでも大切だと思います。

第一回目のテーマは「自己紹介」でした。最初はいつも自分が行っている自己紹介を行い、緊張もあったので、ゲームでちょっとブレイクタイム。ジェンガやトランプで緊張も和らいだところでフリートークの話し合い開始。「自己紹介」でどんなことを言いたいか? 聞きたいか? どんな態度(話し方、

表情、声の大きさ……) がいいか。普段は大人数で発言が少ない方もしっかりと自分の意見を話してくれました。

次に、メンバーから出た意見を皆でまとめて「自己紹介で言いたいこと、聞きたいことベスト3」を決定して、練習。最初に行った時とは別人のように上手にできた方もいました。最後には「また参加したい」「楽しかった」「知っているメンバーだったけど緊張した」等々の感想をいただきました。

職員もまだまだ勉強の日々ですが、開催後に反省点、課題等を出し合い次回の開催時に反映させたり、他の地区の見学を行い勉強したりと少しでも良い方向で進められるよう努めています。興味のある方はぜひ、見学から参加してみませんか。

(チャレンジセンター 河原)

県東ライフサポートセンターほっとCHA

ほっとできる場所をめざして

平成二二年四月から、こぶしの会の地域活動支援センターは「ほっとCHA」が一手に担うことになりました。(県東ライフサポートセンター真岡は多機能型施設に移行しました。)新体制のほっとCHAが行う地域活動支援について紹介いたします。



ほっとCHAスペース

『ほっとCHAの活動について』

県東ライフサポートセンターほっとCHAがどのような活動をしているかというところ…

平日は個別プログラムを中心としながら、なかまづくり・居場所づくり・相談・相手との関わり方等々、一人ひとりに合った支援を行っていると思います。誰でも気軽に立ち寄ることができる空間にしていきたいと考えています。

土日・祝日は余暇活動を中心とした集団プログラム(買い物・調理・散歩・外食・地域の行事へ参加・スポーツ・カラオケ・映画観賞)を主に行っています。

プログラムを設定し、みなさんが充実した余暇を過ごせるようにしていきたいと思えます。その他、地域に出る機会がもてない方の定期的な訪問・相談も行っています。

具体的なプログラムの例を紹介します。五月の「買い物に行こう」という企画では、さくら市のイオンに行きました。普段なかなか買い物に行けない方が外出できる機会です。休日

ということもありたくさんの方がいました。みなさん楽しく買物ができたという感想をいただきました。買物と外食の企画は月に一回程度取り組んでいます。毎月の「ほっとCHAたより」にその様子を掲載させてもらっています。



5月の買い物(イオンさくら店にて)

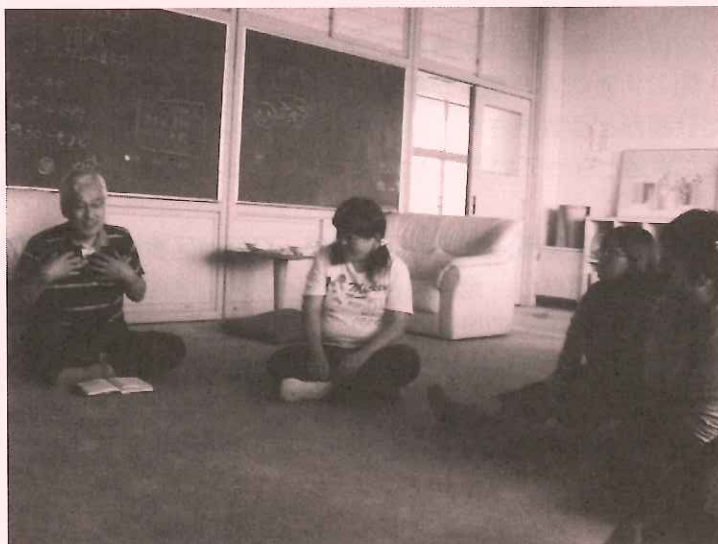
『ぴあかん塾 in ほっとCHA』

月に一度、「ぴあかん塾」という講座を実施しています。ご指導してくれる方は当事者の方で、ボランティアで協力していただいています。

ぴあかん塾とは、楽健法とピアカウンセリングの二つの意味から成り立っています。楽健法とは、二人ペアで行う健康法です。相手の体を気遣いながら足を使い体の疲れをとっていきます。手や指で行うマッサージとは違い、お互いに疲れを感じずにできます。硬かった心と体がほぐれてくるころ、お互い良い関係が築けてきます。また、同じなかま、

同じ障がいをもっている人同士が対等の立場で話を聞き合う場でもあります。

自分の心の中にたまっていることや、不安なことをぜひ一度、話してみませんか? 講座が終わるころ、すっきりした気持ちになります。ほっとCHAに来て、ぴあかん塾を体験してみてください。



ぴあかん塾 in ほっとCHA

少しでも興味がある方、地域生活での悩みがある方は、ほっとCHAに相談してみてください。住み慣れた地域の中で、自分らしく、楽しく、安心して暮らしていけるようにお手伝いしていきます。(粟生田・河又)

特集

平成21年度 社会福祉法人こぶしの会事業報告

平成21年度社会福祉法人こぶしの会は、計画の重点として以下の項目を掲げ、平成21年度の1年間をこぶしの会理念の実現に向かって取り組んだ。

- 1) 法人機能を強化し一体的組織経営・運営を構築する
- 2) 障害者自立支援法への移行準備と財政の再建計画の具体化と実施を図る
- 3) 第2次中・長期計画の本格的な実施として、こぶし作業所、芳賀町バリアフリーケアホームの建設に法人一体となって取り組む
- 4) 自治会、家族会、後援会の活性化と法人間の連携

I 法人機能を強化し、一体的な組織的経営・運営の構築

第2次中・長期計画の推進をマネージメントする法人機能の強化を進める。具体的には組織の改変を、特に、法人の総務・会計システムのルールづくりを進めることを目標にした。

1 経営会議、総務・企画部と専従配置

経営会議（部長、副部長会議）を設置、定期的（後半は、毎週開催）総合的な意見集約と政策立案、理事会への提案および、総務・企画部、地域福祉支援部、地域事業部における方針徹底の機関とし、管理職員間の共通認識づくりに努力した。また、経営会議に諮り、法人の意思統一を図るという組織原則は少しずつ定着してきたと感じられる。

会計の一本化の議論は次年度に全会計を統合することで協議を進めた。

2 法人の支援課題を实践する5つの課

前年度の法人の支援課題を協議した5つの担当者会議を発展させ、決定権をもつ5つの課（地域福祉支援部〔就労支援部(就労支援課、生産活動課)、地域生活支援部(居住生活支援課、生活相談支援課、生活介護課)〕）に組織再編し、法人の一体的な支援体制を目指すことを目標にした。

その結果、就労支援課、居住生活支援課については支援マニュアルやプログラム化が図られるなど、法人間の共通認識の基礎が着実に形成されつつあり、それぞれの事業所において、提案された計画がどう実践され、浸透されていくかは、大きく事業所の所長・主任との計画の共有化が課題となっていることが明らかになってきた。

3 地域事業部（宇都宮地区事業部、真岡地区事業部、芳賀地区事業部）の設置

具体的には、運営会議を開催し、地域福祉支援部や総務企画部で提案された方針と規定に基づき、地域における法人理念の具体化と地域の連携を推進、事業移行計画の実施、進捗管理を地域・事業所においてその具体化と実行を求められた。

前半期の課題遂行が遅く、後半期に課題が集積された。そのため、法人一体化の重要な課題（事業移行準備、家族会、後援会の連携とイベントの実施）が後年度へ積み残された。

II 事業移転の準備と財政再建

年度当初の赤字予算(資金収支)が、当該事業所の努力と法人全体の努力で、黒字決算となった。財政的に困難な状況にある事業所は、就労移行事業のあり方の根本的矛盾(一般就労の成果が利用者減につながり、経営難となる)とともに、支援内容の強化(高賃金の保障)の課題が明確になっている。

III 障がい者福祉の拠点、こぶしの会の事業の要としての施設づくり

こぶし作業所建設(移転)と芳賀町バリアフリーケアホームを、課題は残しつつも、内外の関係者が話し合いを通じて力を合わせ建設した。

IV 関係者の一体感と共生社会の創造

- ① 職員の創意、工夫が発揮できる組織運営を目指した。特に、教育・研修は、職員一人ひとりの主体性の形成、そして、それを支えることを通じて幹部職員としての力量を高めることを目標とし取り組んだ。
- ② 本人活動支援、家族支援、後援会活動の活性化と法人間の連携強化が目指され、交流会を開催した。また、関係者の一体感を感じる法人イベントの企画実施が掲げられたが、大きな不十分さを残した。特に、後援会員数の低下(340名)傾向を変えることができなかったことは次年度の最重要課題として持ち越している。
- ③ 広報紙の定期発行は、2回の合併号をはじめ、発行の遅れを生じさせている。内容への期待が聞かれる中で、その充実と定期発行が求められる。

平成21年度貸借対照表総括表

平成22年 3月31日現在

科目名称	21年度末	20年度末	増減	科目名称	21年度末	20年度末	増減
資産の部				負債の部			
流動資産	396,995,618	144,239,302	252,756,316	流動負債	269,842,055	37,030,759	232,811,296
小口現金	389,276	367,073	22,203	買掛金	3,866,561	4,627,295	-760,734
当座預金	33,938	22,458	11,480	未払金	261,845,660	31,985,917	229,859,743
普通預金	83,928,263	46,907,187	37,021,076	預り金	2,580,094	66,547	2,513,547
定期預金			0	前受金	1,549,740	351,000	1,198,740
売掛金	1,969,079	2,992,888	-1,023,809				
原材料	163,851		163,851				
未収金	307,815,400	92,637,129	215,178,271				
立替金	885,499	90,677	794,822				
前払金	1,810,312	1,221,890	588,422				
固定資産	753,516,002	472,889,526	280,626,476	固定負債	124,280,369	40,273,893	84,006,476
基本財産	360,280,818	349,847,666	10,433,152	設備資金借入金	103,519,999	22,279,999	81,240,000
建物	259,228,626	274,208,617	-14,979,991	退職給与引当金	20,760,370	17,993,894	2,766,476
建物付属設備	16,269,639	18,338,549	-2,068,910				
土地	84,782,553	57,300,500	27,482,053				
その他の固定資産	393,235,184	123,041,860	270,193,324	負債の部合計	394,122,424	77,304,652	316,817,772
建物	223,394,023	13,018,795	210,375,228				
建物付属設備	86,017,867	815,656	85,202,211	純資産の部			
構築物	1,033,907	1,300,278	-266,371	基本金	175,707,892	155,023,649	20,684,243
機械及び装置	3,411,331	4,230,946	-819,615	基本金	175,707,892	155,023,649	20,684,243
車輛運搬具	6,025,465	5,195,016	830,449	国庫補助金等特別積立金	432,097,390	211,435,246	220,662,144
器具及び備品	14,296,374	11,592,412	2,703,962	国庫補助金等特別積立金	432,097,390	211,435,246	220,662,144
土地	20,875,108	37,832,053	-16,956,945	その他の積立金	15,789,203	27,387,173	-11,597,970
建設仮勘定	0	2,200,000	-2,200,000	設備整備等積立金	587,952	5,587,952	-5,000,000
権利	922,995	719,438	203,557	建設資金積立金	2,583,391	9,181,361	-6,597,970
ソフトウェア	654,511	722,569	-68,058	移行時特別積立金	9,644,400	9,644,400	0
設備整備等積立預金	587,952	5,587,952	-5,000,000	授産移行時特別積立金	1,664,000	1,664,000	0
建設資金積立預金	2,583,391	9,181,361	-6,597,970	修繕積立金	1,309,460	1,309,460	0
移行時特別積立特定預金	9,644,400	9,644,400	0				
授産移行時特別積立預金	1,664,000	1,664,000	0	次期繰越活動収支差額	132,794,711	145,978,108	-13,183,397
修繕費積立預金	1,309,460	1,309,460	0	次期繰越活動収支差額	132,794,711	145,978,108	-13,183,397
共済財団退職金預け金	20,760,370	17,993,894	2,766,476	(うち当期活動収支差額)	-24,781,367	-8,198,067	-16,583,300
預託金	54,030	33,630	20,400				
資産の部合計	1,150,511,620	617,128,828	533,382,792	純資産の部合計	756,389,196	539,824,176	216,565,020
				負債及び純資産の部合計	1,150,511,620	617,128,828	533,382,792

生産活動部の役割

こぶしの会二二年度事業計画の重点課題の一つに、①利用者が、働きたいと感じる生産活動の中身の充実が挙げられています。この課題を進めるために、生産活動部が立ち上がりました。部員は専従職員として、部長一名、課長代理一名で動き始めました。

生産活動全般の底上げと中身を充実させることが目標となりますが、こぶし作業所移転新築に伴う新規事業の立ち上げ(パン、弁当)や、自主事業の拡大、立て直しなど、課題は山積みです。アドバイザーの藤井さんにも指導していただきながら各現場の売上を伸ばす仕組みづくりを行っています。



を進めてきたこぶしの会も、今では、宇都宮地区から芳賀、真岡と広範囲に作業所が増えて(セルブ・みらい・県東ライフサポートセンター)、働く現場は店舗も含めると七か所となりました。けやき作業所が平成一〇年に、下請け中心の作業から脱出して、パンの製造・販売の作業に変わりました。

本格的に自主事業に取り組んできた中で確認したことは、①「一〇年で千円の昇給だよ」という利用者の嘆きから学ぶことは何か。②本物の労働は社会的評価に値するものではないか。高賃金を保障することでプライドをもち、関心(主体性)がもてるのではないか。③生産活動と併せて一般就労を目指す利用者には就労支援していくこと。④本物の労働に、重度障がい者

も関心をもっている。⑤生産活動の常識的な意識を身につける。⑥毎日消費する食品事業を展開していく。

このような、議論から、利用者の自立支援と生産活動は一体的であると捉えてきました。

地域ネットワークをつくりつつ生産活動に力を入れる

こぶしの会の地域に根ざす事業展開の一つに、後援会員、家族会との連携や協力を得て、生産活動の営業(パン、弁当販売など)が県東地域に広がっていった経過があります。

けやき作業所のパン販売実績は、一年目は一日二万円、二年目は四万円、三年目には月一〇〇万円と、着実に目標を達成してきました。また、利用者の主体的な労働が見えてきたのもこの時期です。

今年度の主な授産活動の展開と進捗状況

- ①こぶし作業所の新事業の立ち上げと安定した収益 ↓ パン製造マニュアルを作成
- ②けやき作業所のパン売上を一・五倍に ↓ パンプロジェクトで原価の見直しや、製造ラインの体制を再構築する。

サポーターズ

こぶしSupporters

後援会
保護者会・ボランティア

～こぶしの会を地域の大切な社会資源に育てるため、私たちは強力にバックアップします～

北関東総合警備保障株式会社様より芳賀町バリアフリーケアホーム「ホーム ひまわり」建設のための寄付金を頂戴いたしました。ありがとうございました。

- ③福祉拠点改修助成金の活用で新店舗立ち上げ ↓ こぶしの会のブランド週及になるような店舗づくり(県東地区)
 - ④基盤整備事業補助金の活用と検討 ↓ けやき作業所パン設備の整備と充足
 - ⑤店舗事業の推進(キッチンセルブ、おみせやさん) ↓ おみせやさん(宇都宮店舗協議会と話し合いながらリニューアルオープン)、キッチンセルブの改善
- 今年度はパン、給食・弁当、スイーツプロジェクトを立ち上げました。担当者同士はもちろ
- んのこと、現場レベルの課題の共有、解決を進めていく重要な役割を担っていることを職員が自覚することが重要です。また、法人一体的にと言ってもなかなか事業所の殻を破ることもむずかしい一面があります。
- 日々現場で行っていることを職員同士確認しながら、横断的に進めていき、各事業所の予算目標が達成できるように仕組みづくりと立案をしていくことが生産活動部の役割となります。
- 目標達成に向けて各事業所の所長を中心とした現場と協力体制を強めていきます。

社会福祉法人
こぶしの会

- こぶし作業所 ☎321-0126 栃木県宇都宮市茂原町837-1
 ・就労移行支援事業
 ・就労継続支援B型事業
 ・生活介護事業
 ・自立訓練(生活訓練)事業
 - 障がい者生活支援センター こぶし ☎321-0902 栃木県宇都宮市柳田町1401
 ・在宅障害(児)者の相談・支援
 TEL 028 (613) 5703 FAX 028 (666) 6128
 E-mail kobushi-sw@tenor.ocn.ne.jp
 - こぶしのときわ荘 ☎321-0139 栃木県宇都宮市若松原2-6-8
 ・知的障害者ケアホーム
 TEL 028 (653) 1581
 - く る み ☎321-0912 栃木県宇都宮市石井町字内野2867-3
 ・知的障害者ケアホーム
 TEL 028 (664) 0435
 - けやき作業所 ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2244
 ・就労継続支援B型事業
 ・生活介護事業
 ・日中一時支援事業
 TEL 028 (687) 1040 FAX 028 (677) 5789
 E-mail keyaki@carrot.ocn.ne.jp
 - 第2けやき作業所 ☎321-3303 栃木県芳賀郡芳賀町稲毛田1532
 ・就労移行支援事業
 ・就労継続支援B型事業
 TEL 028 (677) 0495 FAX 028 (687) 4818
 E-mail inageda@fancy.ocn.ne.jp
 - 県東ライフサポートセンター ☎321-3303 栃木県芳賀郡芳賀町稲毛田1532
 「ほっとCHA」
 ・地域活動支援センター
 TEL 090 (7820) 9165
 - 県東ライフサポートセンター「真岡」 ☎321-4305 栃木県真岡市荒町3-9-5
 ・就労移行支援事業
 ・就労継続支援B型事業
 TEL 0285 (83) 2567 FAX 0285 (85) 8055
 - ホームひまわり ☎321-3321 栃木県芳賀郡芳賀町大字下高根沢字下原3932-79
 ・知的障害者ケアホーム
 TEL 028 (678) 3592
 - けやきハイツ ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井178
 ・知的障害者ケアホーム
 TEL 028 (677) 2879
 - 第2けやきホーム ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井1024-1
 ・精神障害者グループホーム
 TEL 028 (677) 0790
 - コーポ峰 ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井775-2
 ・知的障害者ケアホーム
 - セルプ・みらい ☎321-4363 栃木県真岡市亀山1043-23
 ・就労移行支援事業
 ・就労継続支援B型事業
 TEL 0285 (81) 1155 FAX 0285 (81) 1177
 E-mail selp-mirai@carrot.ocn.ne.jp
 - ぼてっと ☎321-4364 栃木県真岡市長田1-12-5
 ・知的障害者グループホーム
 TEL 0285 (80) 1227
 - 芳賀地区障害児者相談支援センター ☎321-4305 栃木県真岡市荒町110-1 市総合福祉保健センター内
 ・在宅障害(児)者の相談・支援
 TEL 0285 (80) 7765 FAX 0285 (80) 7765
 - 県東圏域障害者就業・生活支援センター「チャレンジセンター」 ☎321-4305 栃木県真岡市荒町111-1
 ・障害者の就業相談・支援
 TEL 0285 (85) 8451 FAX 0285 (85) 8452
 E-mail p-cc-star@ec3.technowave.ne.jp
-
- 法人本部 ☎321-0902 栃木県宇都宮市柳田町1401
 TEL 028 (613) 3707 FAX 028 (666) 6128
 E-mail sphb8h99@jewel.ocn.ne.jp

本会の定款、事業計画、財務諸表等を閲覧ご希望の方は、各事業所までお申し出ください (閲覧時間 8:30 ~ 17:00)

編集後記

新年度が始まって3カ月が過ぎ、私の所属している第2けやきではクロネコメール便が6月から始まりました。芳賀町の稲毛田地区を自転車で配達して回っているわけですが、自転車に乗るのなんてかれこれ10年ぶり……。初めはバランスも危うく、配達を終えたあとは筋肉痛が……。運動不足解消だと思って、がんばります!

(菊地)

編集委員

大塚 秋穂 小林 勇次 菊地 豊 星野 早苗 廣本 佳奈子 森島 知代

発行所 郵便番号一五〇〇七三

東京都世田谷区砧六―二六―二一
 特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

定価五〇円